

# 第81回 メーデー特集

# 公共清掃の仲間と デモ行進と都民へアピール



**東京清掃労働組合**  
 千代田区飯田橋3-9-3  
 TEL (3237) 9995  
 1部20円

編集責任 長明  
 教宣部 浩  
 坂本

### わが組合の綱領

わが組合は健全な自主的組織を築き、生活改善を期し、社会的地位の向上を期し、わがわが労働者の社会的地位を向上させ、労働者の生活向上を期し、われわれは労働者階級の解放と民主主義の発展を期し、世界平和の達成を期す。

主な日程  
 6月5日(土)  
 5月7日(月)  
 第35回組織集会  
 箱根路 開雲



4月29日中央メーデー、5月1日日比谷メーデーが開催されました。わが組合は両方に参加し、例年通り日比谷メーデーを中心に取り組みました。両日とも都内を整然とデモ行進し、都民に我が組合の主張をアピールしてきました。

4月29日の連合のメーデー代々木公園までデモ行進を  
 1は快晴のなか、200人 おこないました。  
 を超える仲間が参加し、前 また5月1日の日比谷メーデーも好天に恵まれ、青  
 段で明治公園での東京地公 ーデーも好天に恵まれ、青  
 労の集会を行なったのち、 行隊、女性部、退職者会、  
 中央メーデー会場のある 全体で700人を超える仲間  
 が参加し、また今回は初め  
 ととなる、「公共清掃」の  
 仲間と共に日比谷野外音楽  
 堂から鍛冶橋までデモ行進  
 を行いました。



### メーデーの歴史

メーデーは、1886年5月1日にアメリカの労働者が8時間の労働時間を求めて、ゼネストに立ち上がったのを起源としている。当時のアメリカの労働者は、低賃金と長時間労働に苦しめられ、労働時間の短縮は切実な要求だった。第1回国際メーデーはこうした背景の下で、1890年にスタートした。

日本では、1920年5月2日に第1回メーデーが上野公園で開かれた。しかし、治安維持法の下で労働運動は弾圧され、日本が次第に戦争へと進んでいく中で、1936年に起きた、いわゆる「2・26事件」を契機にメーデーは禁止された。

第2次世界大戦後、メーデーは労働組合の復活とともに、再び開かれ、労働者の地位や労働条件の向上、権利拡大をはじめ、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、恒久平和に深く貢献し、その役割を果たしている。

また、メーデーの歴史は、労働戦線の動向と深く関わっており、今日的にはすべての労働組合・労働団体の「統一メーデー」開催には至っていない。

わが組合の主力が参加する「日比谷メーデー」の精神は、最もその志しを受け継いでいると言える。



議長団に選出された東京清掃本部吉田副委員長



葛飾区で4月に新規採用された灰田 彰さん  
「初めての参加です。青行隊で参加です・天気が良くてよかったです。」



品川区で4月に新規採用された北村 遼平さん  
「メーデーは初めての参加です。東京清掃の作業服の青が目立ちますね。」



青年部



退職者会



退職者会の植草 嘉継さん(旗を持っている人)  
「職場は分断されたけれど、青い作業服での参加を見るにつけ、東京清掃は西川委員長の下でひとつに団結していると感じるね。これは退職しても我々の誇りだね」



女性部



メーデーPhoto  
アラカルト



第3地連



第2地連



第1地連



中央メーデー



第5地連



第4地連

### 東京清掃軟式野球部『オール清掃』

#### ・今期の活動を始動

昨年の都本部野球大会(自治労大会東京都代表決定戦)への参加を契機に発足した、東京清掃軟式野球部『オール清掃』が今年度の活動をスタートさせました。

今年の都本部野球大会も6月19日(土)に日程が決まっています。昨年は惜しくも東京都代表の座を逃しましたが、今年こそ東京都代表として関東甲大会への出場を目指します。

各区からの選抜メンバーになった経緯があります。再は、冬の間の活動休止期間度の対戦申入れに快諾をいを感じさせない軽快な動き。練習試合の実現とで、今期の練習と練習試合になりました。

試合が動いたのは、0対0で迎えた三回表、走者二

迎えました。

その後も5月18日に東京都市大学の同好会チーム「T.C.P」と対戦。昨年も対戦して6対2で勝利したチーム結成とな



対戦した新宿区職労と試合後の記念撮影

ムリで追加点。投手も江戸川支部・蟠原君から文京支部・星君、北支部・山崎君と継投し、最後は石神井支部・黒田君が締めて4対0の完封で今季初戦を快勝しました。敗れた新宿区職労も好投手を擁する強豪チームでしたが、少ない好機を活かした『オール清掃』に勝利の女神は微笑みました。また、この日は、中野支部・高橋君と板橋東支部・名越君を新入部員として迎えました。

本来であれば、当局責任で実施しなればいけない福利厚生事業ですが、取り巻く状況からそれも難しく、東京清掃のレクレーション活動の一環としてのチーム結成となりました。

燃える相手チームは、ユニフォームを新調しての奮起を見せ、1対2で惜敗を喫してしまいました。試合後に「普段対戦している学生チームよりとても強いです(笑)」と感想を述べてくれました。

今後は野球だけに限らず、様々なレクレーションを実施していきたいと本部としては考えています。

### 第5回中央委員会報告

4月27日第5回中央委員会が開催されました。経過報告として第4回以降の経過、2010年度1月、2月分の会計収支報告が報告され、全体の拍手で承認されました。また議事として4月29日(木)、5月3日(月)、5月4日(火)、5月5日の祝日計画、回復作業計画(案)等について中央委員全体の拍手で確認されました。

西川中央執行委員長の冒頭挨拶のなかで、3月末まで自治労本部のなかに政

策委員会があり、そのなかみで10人であることに触れ、今年度は今以上に新規採用を求めていくこと

経過報告として染書記長から、「区長会への人事任用制度要求」の団体交渉、

「課長会と勤務条件に関する意見交換」の内容等第4回以降の経過、また財政部長1月、2月分の会計収支報告が報告され、質疑答弁ののち、中央委員全体の拍

手で承認されました。議事として4月、5月の祝日計画等、夏の参議院選挙の推薦候補が提案され、質疑答弁ののち、中央委員全体の拍手で確認されました。



第5回中央委員会

## 自治労自動車共済加入者の皆さんへ

今年の3月12日付けの朝日新聞に、「自治労共済 18年間不適切契約 自動車共済、実態調査へ」との記事が掲載されました。

自動車共済の加入条件は、組合員・配偶者、また同居する父・母・子の所有する車両とし、他に一定の条件（組合員の転勤や子の就学等の一時別居は加入できる）の範囲としてきました。

この「一時別居」の条件を拡大解釈し、例外的に契約後、所有者が別居しても、組合員の隣接する県であれば届出（現認所）により特例的に継続を認めてきました。この運用は、2008年3月に打切り終了となりましたが、それ以前の契約者に対しては、継続契約を認めてきました。

注）この契約者には、別途連絡します。

この件については、本年3月3日に厚生労働省から是正指導がなされています。自治労共済としては、規約の拡大解釈であったことから、是正指導を踏まえ、当該運用を廃止するとともに、今後契約車両の範囲の徹底のため以下の対応をとることとしました。宜しくお願いします。

### 【別居の父母、子を所有者として加入されている契約者】

1. 現在の契約については、契約満了まで加入できます。その時点で「別居」されている場合は、契約を更新することができません。但し、全労済の「マイカー共済」にランク継承で引継ぎができますので担当者にご相談ください。

### 【所有者の定義の再確認】

\* 加入できる車の範囲を再確認しましょう。

注) 「同居」「別居」は、継続時の状況です。「同居」する次の「所有者」の車です。

1. 今回所有者の確認徹底のため、帳票類の内容の一部変更します。

■ 「所有者」を「記名被共済者」に変更します。

■ 記名被共済者とは、契約車両の実質上の所有者（車検証等で所有の事実が確認できる人）です。 ① 共済契約者（組合員） ② 共済契約者の配偶者 ③ 共済契約者と同居する父母、子（配偶者を含む） ④ 共済契約者の配偶者と同居する父母、子 ⑤ 「一時的別居」の父母、子

■ 「同居とは」、同一の家屋に居住していることをいいます。住所の番地が同じであれば、同居とみなします。番地が異なれば、別居とみなします。

■ 「一時的別居とは」、組合員または配偶者とその父母または子が同一生計であることが確認でき、① 組合員またはその配偶者が、転勤により、将来同居することを前提に、記名被共済者（所有者）である父母ないし子と別居すること。② 独身の組合員が、転勤により、将来同居することを前提に、記名被共済者である父母と別居すること。③ 組合員またはその配偶者の子が記名被共済者で、子が就学のため、組合員またはその配偶者と別居すること。

■ 「同一生計とは」、生活に必要な費用（食費、光熱費、水道料金等）の共有（負担）を証明できることをいいます。

### ひとこと

「風薫5月」もこの号が各支部に着く頃は終わっているかもしれないが、今年の連合メーデーも日比谷メーデーも好天に恵まれた。残念ながら今回もわが組合が求める統一のメーデーは叶わなかったが、わが組合は両方に参加

して、心地よい初夏の日差しのなか、都内を整然とデモ行進を行い、わが組合の主張を訴えてきた。▲統一を求めながらナショナルセンターにかかわらず、国鉄闘争を中心とした闘いのなかで生まれた日比谷メーデーはとりわけ感慨深いものがあった。▲「JR不採用問題」の解決へ向かうなかで、闘争団の仲間からの静かな口調での連帯の挨拶は24年に及

ぶ闘いを支えてくれた多くの労組、仲間に対する感謝に溢れていた。またこの闘いは我々労働者にとって厳しい状況であっても、闘い続けることこそが力であり、展望を切り開けることを身をもって示したような気がする。▲まだ「雇用問題」が解決されていない。▲「納得いく解決」まで闘いはまだまだ続く。教宣部長 坂本 浩明